

# INTERMODE KAWABE

## Business Report 2022年4月1日から2023年3月31日まで

### ごあいさつ

当連結会計年度（2022年4月1日～2023年3月31日）における国内経済は、新型コロナウイルス感染対策の行動制限緩和などウィズコロナの新たな段階への経済社会活動の移行が進められたことでコロナ禍の景気停滞から回復基調に転じております。一方で、ウクライナ情勢の長期化による不安材料に加え、急激な為替の変動や資源高が進行するなど景気への悪影響が懸念される状況が続きました。個人消費においても、行動制限等の緩和とそれに伴う観光サービス業等の需要に回復の動きがみられたものの、インフレからの物価上昇懸念による節約意識が高まるなど、先行き不透明感が強まりました。

当社グループの主要販路である百貨店・直営店舗においては、外出機運や消費意欲の高まりから入店客数が増加し、一部の店舗ではコロナ禍前の売上高に近づくなど、市況は徐々に回復基調に転じました。また、訪日外国人旅行者への水際対策緩和によりインバウンド需要も順調に回復しリベンジ消費に期待を持てる機運に好転いたしました。

このような状況下、当社グループにおいては、当連結会計年度の重点課題として掲げている新規販路の開拓、EC事業の拡大、収益の改善、マーケティング活動・広報活動強化、SDGsの施策をさらに推進し、新型コロナウイルス感染対策の取り組みも継続しながら積極的に営業活動を進めてまいりました。

また事業継続の観点から、在庫の適正化、経費削減、投資の見直し等に取り組み、円安基調の長期化を前提とした為替予約を活用し、商品企画、生産においては付加価値や機能を付加した商品開発を積極的に行い進め、同時に価格の見直し等を行い、原価抑制にも努めてまいりました。

第78期の業績につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響が残る一年でしたが、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益ともに大幅な改善ができ、黒字を達成することができました。

また、2023年2月には当社創業100周年を無事に迎えることができました。

これもあらゆるステークホルダーの皆様方のご支援の賜物と感謝申し上げます。ありがとうございます。

次期につきましては、社会、経済背景の影響もあり、当社を取り巻く環境は依然厳しい状況ではありますが、これまで培ってきたビジネスモデル、そして従来とは違うビジネスモデルをグループ全体で行うことで成長の余地は大いにあると捉えております。

本年度は当社グループ「中期経営計画2023」の初年度にあたります。これからの未来作りの一歩となる「中期経営計画」となります。

基本戦略は、「当社グループしかできないグループ全体で連携したモノ作りと販売」といたしました。製造から販売まで自社グループで行えることが当社の強みです。

その目的は、「新しいもの作り」、「新規販路開拓」、「生産性向上」、「収益確保」です。

また、基本事業を丁寧に行うとともに、フレグランス事業に於いても攻めに転じます。

それを支えるのがデジタル強化とマーケティング強化です。

お客様との接点を増やし、顧客満足度の向上に努めてまいります。

計画の初年度となる第79期は、徹底的に「新規売上構築」に努めます。川辺のみならずグループ会社一体となって新規売上の獲得を目指します。

また、人材教育、女性活躍、サステナブル（SDGs）活動にも注力してまいります。

株主の皆様におかれましては、何卒一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長

岡野将之

### 連結財務データ

(単位：百万円)

財務の状況	前期末 2022年3月31日現在	当期末 2023年3月31日現在
流動資産	7,189	7,160
固定資産	5,110	5,028
資産合計	12,299	12,188
流動負債	5,255	4,740
固定負債	968	1,040
負債合計	6,223	5,781
純資産	6,076	6,407
負債純資産合計	12,299	12,188

### 経営成績の状況

	前期 2021年4月1日～ 2022年3月31日	当期 2022年4月1日～ 2023年3月31日
売上高	10,786	12,551
営業利益又は営業損失(△)	△ 214	123
経常利益又は経常損失(△)	△ 122	205
親会社株主に帰属する当期純利益 又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△ 365	124

### キャッシュ・フローの状況

	前期 2021年4月1日～ 2022年3月31日	当期 2022年4月1日～ 2023年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 174	837
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 49	206
財務活動によるキャッシュ・フロー	623	△ 768
現金及び現金同等物の期末残高	1,308	1,585

## 商品別 売上高構成比

### Handkerchief

売上高：77億5百万円

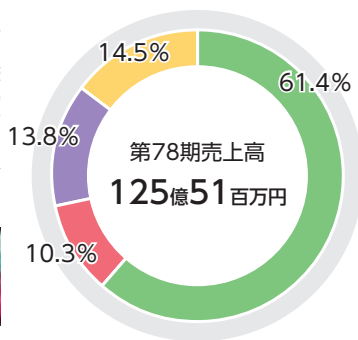
ハンカチーフにつきましては、行動制限の緩和により、ギフト需要が回復基調で推移いたしました。また、SNSに端を発し百貨店店頭や自社ECで大きな売上を構築できたラルフローレンエコバッグなどのヒットアイテムの牽引、訪日外国人観光客需要による一部のブランド商品の大幅な売上伸長に加え、単価アップ策として取り組んだシエニール商品のヒットもあり、また当社100周年企画として多くの店舗で採用されたメッセージハンカチ等も好調に推移した結果、売上は前年比111.5%となりました。



### Towel/Goods/Bag

売上高：17億30百万円

タオル・雑貨につきましては、学校等でのプール授業再開によるラップタオルの需要が大きく売上が牽引いたしました。また、EC事業、TV通販での売上が順調に推移したことや、百貨店内にて積極的に行ったハワイアンキルト柄をモチーフとした商材のイベントが功を奏したこと、また当社が幹事として自主運営を行う百貨店雑貨売場の売上が順調に推移した結果、前年比131.3%となりました。



### Scarf/Muffler

売上高：12億90百万円

スカーフ・マフラーにつきましては、マフラー商戦の繁忙期である11月・12月はカシミアの回収事業など新たな取り組みを行いました。温暖化により防寒商材はやや苦戦となりました。しかしながら、シーズンを通しては春夏におけるスカーフ市場の繁忙期である母の日需要を取り込むことができたことや、当社におけるスカーフカテゴリーに分類される新アイテムの晴雨兼用傘が順調に売上が構築し、秋物市場の初動に関してもシルクスカーフや薄手ストール、無染色カシミアシリーズや、敬老の日向け商品などの新作が順調に推移した結果、売上は前年比116.3%となりました。



### Fragrance

売上高：18億24百万円

フレグランスにつきましては、身の回り品事業と同様に行動制限の緩和に伴いメゾンフレグランス商材を中心に主要販路である百貨店、直営旗艦店に於いて順調に売上が拡大することができたと同時に、スキンケア商材が引き続き年間を通じて好調に伸長した結果、売上は前年比126.2%となりました。



## 会社概要

社名	川辺株式会社
社名(英語表記)	T.KAWABE & CO., LTD.
創業	1923年2月
設立	1942年11月
資本金	1,720,500,000円
主な事業内容	ハンカチーフ、スカーフ、マフラー、タオル及び布帛製品の製造、販売ならびに輸出入／服飾雑貨の販売ならびに輸出入／化粧品、香水、石鹸、医薬品、医薬部外品の製造及び販売ならびに輸出入／上記に付帯する一切の業務
事業所	本社／東京支店／大阪支店／福岡支店 川辺今治センター グループ レインボーワールド株式会社／株式会社ソルティアー／川辺(上海)商貿有限公司

役員	代表取締役社長 岡野 将之
(2023年6月28日現在)	代表取締役 越智 康行 経営企画室長
	取締役 戸上 太一 営業統括本部長
	取締役 有田 二郎 経営管理統括本部長
	取締役 安田 耕司 社外取締役
	取締役 貞末 奈名子 社外取締役
	監査役 安田 裕二 常勤監査役
	監査役 洞 敬 社外監査役
	監査役 神崎 時男 社外監査役
従業員数	143人

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月末日まで
剰余金の配当の基準日	期末配当金 毎年3月末日
定時株主総会	毎年6月開催
公告方法	電子公告 (https://www.kawabe.co.jp) ただし、電子公告によることができないときは、日本経済新聞に掲載する方法とします。
株主名簿管理人	東京証券代行株式会社 東京都千代田区神田錦町三丁目11番地 NMF竹橋ビル6階
郵便物送付先(連絡先)	〒168-8522 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 東京証券代行株式会社 事務センター ☎0120-49-7009 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。

## 株式情報 (2023年3月31日現在)

発行可能株式総数	3,000,000株
発行済株式総数	1,861,000株
株主数	1,760名
主要株主名	持株数 持株比率
一広株式会社	1,004,200株 55.0%
丸山三千夫	55,000株 3.0%
伊藤忠商事株式会社	53,180株 2.9%
川辺康子	42,064株 2.3%
松本恒吉	20,000株 1.1%
越智康行	19,800株 1.1%
大島勇	12,800株 0.7%
川辺浩子	10,951株 0.6%
越智勲	10,800株 0.6%
沢辺潔	10,103株 0.6%

(注) 持株比率は自己株式(35,489株)を控除して計算しております。

## 株主ご優待について

株主の皆様の日頃のご厚情にお応えするため、下記の要領により、株主ご優待の商品を贈らせていただきます。

ご優待の商品	自社製品
権利の確定日	3月31日現在の株主
ご所有株式による区分と商品	① 100株以上ご所有の株主 小売値2,000円相当の自社製品 ② 300株以上ご所有の株主 小売値5,000円相当の自社製品 ③ 500株以上ご所有の株主 小売値7,000円相当の自社製品 ④ 1,000株以上ご所有の株主 小売値10,000円相当の自社製品

## 川辺株式会社

〒160-8403 東京都新宿区四谷四丁目16番3号 TEL : 03-3352-7123  
FAX : 03-3352-2070